

主な活動の紹介



地域協育ネット会議の様子

各校から3名ずつ集まって、共通する育成目標のすり合わせをしました。



すみよし輝かせ隊の活動

自主的なボランティア活動として、住吉中学校の生徒がペンキ塗りを実施しました。



ふるさと交流会

交流会の中で、今宿小学校の児童に地域の方が「いまじゅく音頭」を教えました。



地域と緑化委員会で活動

毎週水曜日の昼休みに徳山小学校の児童と地域の方が一緒に花のお世話をしました。

成果と課題

今宿小学校と徳山小学校では、平成24年度に学校運営協議会がスタートしましたが、コミュニティ・スクール先進校である住吉中学校の取組を知ることが、学校運営協議会の充実につながっています。また、各校共通の実践項目として、「あいさつ」に力を入れました。あいさつの活発な徳山小学校をモデルとして、住吉中学校、今宿小学校の学校運営協議会が一体となって地域に呼びかけたことで、「地域で子どもが以前よりもあいさつをするようになった」「中学校周辺では大人同士のあいさつも活発になった」という声が聞かれます。今後も学校運営協議会同士の情報交換をさらに進め、特に子どもの「豊かな心を育てる」視点で、共通認識と実践を図ることが重要と考えています。

また、住吉中学校においては、「すみよし応援隊」に触発され、生徒の自主的なボランティア活動組織「すみよし輝かせ隊」が立ち上がり、学校の環境整備を実施しています。今後、中学校区全体への活動の広がりが期待されています。

今後の取組

幼保・小・中の連携については、地域協育ネット会議への幼稚園や保育園からの参加を検討しており、中学校区内の0歳から15歳までの育ちを考える組織をめざしています。

各学校における学校運営協議会と学校の応援団の活動の充実をめざしながら、地域協育ネットとして中学校区を一まとまりとした学校・家庭・地域の協働による子どもの心の育成を進めています。また、学校に関わることで生きがいをもつ地域の方が増えることは、地域の活性化にもつながります。学校と地域がWin-Winの関係であることを大切に、持続可能な連携を進めていきたいと考えています。